

どうにもならない日常/どうしようもない日常

麻痺的なもの

永続性

やめることが出来ない

一貪り食う/ 煙草を吸う

同じことを繰り返す

固執 依存症

同じことが繰り返される

反復

・洗濯機之音

外から聞こえてくる音

日常の中で流れている時間

【部屋の中の風景】

一部屋で狂った, 狂っていた時間

舞台上手は部屋の中の風景, 一人の時間へ入っていく, 洗濯機が日常の中で流れている, TVから声も聞こえる, 洗濯物, コインランドリーへ入れていくゴミ袋, コードなどが置いてある。抜け落ちたような状態で, 扇風機の前で, 意味もなく首を横に振っている。

何も手につけられずに, 散らかった物の中にいる, ジリジリした感じ, 溜まっていく。日常の中で, 堆積し拘束されている。完全に身動きが取れない状態を実感する。身体(頭)も重い, PCに向かうと目がパチパチ(何か光のようなものが見える)する。頭.米噛みの辺りが神経的に痛い。潜在的な切迫感, 処理することが出来ないことへの焦り, 苛立ち。混乱状態で, 壊れていた赤ペンからインクが溢れ, 手に付き, 顔や鼻を擦り, 気がつくについでいた。

依存的に整理・整頓を繰り返しては片付けられなくなり, 物が散乱する。手がつけれない。自分が狂う手前であることを実感する。散乱した物の中で, 身を悶える。「アーという、自分が狂っていることを自覚する、どこにも根拠のないような声を出す。」

いつ自分がどうなるのか分からない。離れてしまうのか。日常に戻ることを希求する。

それを, 笑っている私

回復することが出来ない, 取り戻すことが出来ない

日常さえも壊れてしまう, 壊してしまう

日常へ帰る場所さえ失ってしまう。その中へ入ることさえ出来ない

どうにもならない私

【日常性 /非日常性】

日常に**侵食**されていく

ここから聞こえてくる音

日常の歪み(ヒズミ)から,沸いて出てくる

人の感情や,不純物

【要素】

●「靴の紐が結ばれている」

靴の紐を、両足で結んでしまう

日常ではあり得ないこと、相反することを無意識の内にしてしまっているような行為

自分では,それに気づいていない

何か(頭の中が)ズレているような感覚・状態

頭の中の構造が壊れている

明ら様さ 思い込んでいる 妄想 錯覚

●「荷物が二つある」

堆積した身体

拘束される身体

具体的なフォームが積み重ね,壊れていく

時折見える外形的フォーム

両肩→起き上がる・崩れる→床での弄り→床を転がる

→両肩

両肩に荷物が掛かっているような状態

荷物が重い

身体が蝕まれていく感覚

身体に赤い痕がついている

荷物を弄っている 身動きが取れない

→起き上がり,崩れる

荷物が重くて床に平伏している 起き上がろうとする(立ち上がる)が,また崩れ落ちる

徒労感 疲労

願望 望み 願い 希望 救い

それを繰り返す

上昇と下降

重さ

→床での弄り(金網の中の身体)

床で荷物を弄る 散乱した物を掻き分ける

手(腕)が入り乱れる がんじがらめになる

金網(傘の骨)の中で,身体がもがいている

出ようとしようとする意志

痛み 傷

→床を転がる

散乱した中で、身を悶える

仰向けになって、両手両足を上げ床を転がる

「アーという、自分が狂っていることを自覚する、どこにも根拠のないような声を出す。」

どうにもならない私 解放

●「両手が塞がっている」

手をグーパーする

何かをしようとしても、それをすることが出来ない

手につかない 別の物を持っている 頭の中の何かが外れている 身体もズレている

抜け落ちた感覚 收拾がつかない 身体があべこべなことをしている

掴む、持つことが出来ない 捨てる、処理することが出来ない 手離すことが出来ない

追われている 追い立てられている 追いつくことが出来ない

焦燥感 焦り 諦め 諦観

●「不自然な首の動き」

身体から外れている感覚

扇風機の前で、意味もなく首を横に振っているような状態

抜け落ちている

(変調)

狂気

●身体の中に入るもの

自分から/人から

精神的に耐えられなくなっていく

身体も変調していく

・煙草の煙が身体を伝わり、指が痙攣している

—身体は直通している

【身体の中に入ってくる】

日常の堆積が、どんどん身体の中に入ってくる

—他者が侵入してくる

侵害される 妨害される

携帯の受信 ポストに新聞が投げ込まれる チラシが投函される 脅え(怯え) 震え

切迫感 動悸 動揺 吐き気(嘔吐) 腹痛 血が引いて行くような感覚 神経症的なもの

人の声 言葉 音 他者からの圧迫

●頭が痛い

頭.米噛みの辺りが神経的に痛い
頭が重くて動けない状態

→頭部がない感覚

●身体に何を食べさせるのか

・ペットボトルを飲ませる

頭が指令を出し、身体にさせる行為

頭が食べたいと思ったものが、身体にそうさせる。口を通り、身体の中に入っていく。

頭が指令を出したら、身体に変なものを食べさせることが出来るか？

頭と身体の差異 妄想

壊れていく→変容へ

人にされること

★させられる身体・使役される身体→自らする行為へ→自らする身体へ変容していく
ーさせられる身体,使役されること

●攻撃される

他者から受ける,いわれのない攻撃

非難 中傷 無関心 排除される 否定される

・トマトで目を潰す

一人からされること

ー自分を叩こうとする衝動

苛立ち 憤り 怒り 他者へ向かっていく

内省的な自虐行為

トマトで変容する

・トマトを投げつけられる

人による感情の吐露をぶつけられる

それを手離しで受けている

●遮断する(視線 内/外 遮断)

事務所でPCに向かっている 事務所での監禁状態

尋常ではない様相 見ていない視点 現実世界から離れている

目は見開いて,視点が一点になっている 末端神経が壊れている PCを叩く指の動き

PCを叩く音だけが聞こえる 誰もいない 何も聞こえない 話しかけられても応えない

視界に入れない

誰も,何も自分の中に入れない 一切のもの(他者)を遮断している

拒絶 隔絶 防御 抵抗 攻撃

人にされること 人から受ける仕打ち 裏切られたり 無関心さに対して

・目がぱちぱちする

何か光のようなものが見える

(変容)

●**頭部が外れる**

頭部と身体の分離 異質な感覚

伸びる首

身体を直角に曲げ,首を前に突き出す

●**壁の中から異物が出てくる**

日常の壁,奥底から

地下鉄の通気口から,聞こえてくる音

四つん這い

頭部がない身体

●**「トーン トーン トーン・・・」と声を上げていく**

日常から離れた状態 遠くで聞こえる建築現場の音 記憶

●**「高架路の上で叫ぶ男」**

『パリ,テキサス』のテキスト

—安全な地帯などどこにもない

幻影 もう一人の私

帰る (安息の) 場所さえない失う

聞き取れない言葉